

9月1日は「防災の日」



「防災の日」は、10万人以上の死者と行方不明者を出し、甚大な被害を及ぼした「関東大震災」が発生した大正12年9月1日に由来します。

「関東大震災」を教訓に台風や高潮、津波、地震などの自然災害への認識を深め、災害に対する心構えを持つ契機として、昭和35年に内閣の閣議了解によって制定されました。

8月から9月にかけては台風の接近や上陸が多いことから、「防災の日」は防災について考え、もしもの災害に備えるための良い機会と言えるでしょう。

【「防災の日」・防災関連事業のお知らせ】

①留萌市の取り組み「留萌市市民防災訓練」

▼市では、大規模な自然災害に備え、地域の皆さんと共に実践的・現実的な訓練に取り組み、避難所での初期行動などの訓練を実施することで、防災意識の高揚や防災体制の万全を期することを目的として、「留萌市市民防災訓練」を実施します。なお、詳細については、

町内回覧などで各町内会・自治会にお知らせします。ぜひ訓練にご参加ください。

また、エフエムもえる (FM 76.9 MHz) では、市民防災訓練の生放送を実施します。会場へお越しいただけない方は、当日の放送を聴いて訓練にご参加ください。

日 9月1日(土) 9:00～ 所 東光小学校体育館ほか 内 避難訓練や避難所体験など

②北海道の取り組み「北海道シェイクアウト」

▼シェイクアウトは、大地震から身を守るため、参加者が実施日時に合わせて一斉に行う防災訓練で、職場や家庭で手軽に参加することができ、個人でも参加可能です。

実施日時に合わせ、各自で身を守るための安全確保行動をとってください。

日 8月31日(金) 10:00～10:01 (およそ1分間)

内 安全確保行動 ①姿勢を低くする → ②頭を守る → ③そのまま(1分間)じっとする

◎「北海道シェイクアウト」の詳細については、北海道危機対策課ホームページ (<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/>) をご覧ください。

北海道シェイクアウト

検索

災害での被害を最小限にするためには、日頃からの心構えと準備が大切です。自主防災組織の活動や市民防災訓練などに参加し、いざというときに備えて防災意識を高めましょう。

問 市・総務課 ☎ 56-5005